

# 琉球大学学術リポジトリ

## 木のタネの採り方 (つづき)

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-05-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大山, 保表, Oyama, Hohyo メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/19868">http://hdl.handle.net/20.500.12000/19868</a>

# 木のタネの採り方

(つゞき)

## 四、球果や果実の採り方

せつかく成熟充実したタネの活力を減退させないように、母樹の栄養同化の活動を減退させないように、球果や果実を採りましょう。

タネを採る母樹は生長量も大きく形質も良好な選ばれた良木なので、タネの採取後の樹勢回復が早くて次期の結実年度も早まり且つ結実量も多いことは、形質のよいタネを繰り返して多量得られることとなります。

栄養同化器官である葉の量を減ずることは母樹の栄養同化量を減ずることになつて樹勢回復が立ちおくれることとなりますので、タネの採取に当つては、なるべく球果や果実の摘取法によることとし、大枝の切取による採種法は厳につつしみ、着果小枝の切取による採種法もなるべくさけることにしたい。採種作業中の不注意による幹や枝へ与える傷口や、採種のための枝の切口などは病菌が侵入し易くて、これ又樹勢を減ずることになる。タネの採取に当つては木登り法によることとし、採種する枝の上方の幹部に縄などを用いて体を固定し、下方の枝を手又は先端にかきつけた長柄のもので上方に引き寄せて、柄の短いかぎつきの棒又は縄などで採種する枝を適当に固定すれば能率的に採種することが出来るし枝の折損も少なくなる。枝を下方へ引張ると枝の折損が多くなるのでつしまねばならない、止むを得ず着果小枝による採種法を採用する場合は、剪定鋏又は鋭利な鎌などで切り取ることにし、手でちぎり取つたり、力ま

かせに引きちぎつたりしないようにする。

三項で述べた状態に成熟した球果や果実を、時期を失することなく、雨天や曇天をさけて晴天の日に採取する。球果や果実の表面に水分が附着していたり、採取されたばかりの含水率の高い球果や果実が序々に乾燥される状態の晴天でないタネの腐敗や活力の減退を来すので雨天の採取はつしまねばならない。球果や果実の採取に当つては、病虫害におかされたもの、奇形のもの、未熟のもの、特に小形のもの、採取は差し控える。樹種や母樹林の疎密によつて差はあるようだが、樹冠最頂部分の着生タネは一般には活力がやや劣るようだから作業上の無理を押ししてまで採取しないでもよいでしょう。リウキウマツ、モクマオウ、タイワンハンノキなどの球果やソウシジュ、ギンネムなどの葉果やイジュなどの果実は摘取法で、フクギ、シイ、カシ、テリハボク、イヌマキ、センダンなどの果実は地上落下果実の拾い集め法と摘取法を併用して採集すればよい。採集した球果や果実は風通しのよい袋類に入れて持ち帰つて早速乾燥その他の処理にかける。

## 五、採集した球果や果実の処理とタネの

### 取り出しと精選について

欠点のない良質の球果や果実を速かに乾燥その他の方法で処理してタネを取り出しましょう。

採集したばかりの球果や果実は含水率が高いので、長時間袋の中に入れたまゝであつたり、堆積

したまゝ放置したりすると、むれてタネが醗酵腐敗したり活力を減じたりするので、速かに通風のよい処に広げて、病虫害の種実、奇形の種実、未熟の種実、特別に小形の種実、その他の欠点ある種実や枝葉その他のまさりものを取り除いて欠点のない良質の球果や果実について乾燥その他のそれぞれの樹種に適合する処理を施して、球果や果実からタネを取り出して精選し活力のよいタネを貯蔵することになる。

リウキウマツ、モクマオウ、タイワンハンノキなどの球果類、ソウシジュ、ギンネムなどの葉果類、イジュの果実などのように乾燥によつて果が開いてタネが容易に取り出せるような果の構造で且つタネの活力の保存上絶対的に乾燥状態(タネの含水率が約50-70%の範囲)であることを必要とする小粒タネの樹種については、選ばれた欠点のない球果や果実を、乾燥した地面上に丸太などを並べて、その上にムシロやシートなどを広げて球果や果実が重ならない程度に薄く広げて陽光の下で毎日数回かきまぜながら乾燥する。その間欠点のある球果、や果実その他の雑物をとり除くようにする。

乾燥中の夜間、雨天、曇天などの場合は通風のよい室内に持ち込んで乾燥する。そのまゝ露天に放置すると夜露や雨滴がかゝつてタネの醗酵腐敗や活力の減退を来すようになる、充分乾燥(二―四日間位)すれば果が開いて大部分のタネが飛び出るようになるので、果とタネを選別分離して、果を木箱などに入れて棒でかき廻すか、目の荒い金網上で手で果を軽く押しつけながらかき混ぜればタネを分離採集することが出来る、ムシロやシート上で果を棒などで叩いてタネを取り出す方法

はタネを傷ける欠点がある又過度の乾燥もタネの活力を失うことになるので注意を要する。リウキウマツやモクマオウなどはねをつけた。タネは袋に入れてよくもみつぶしてタネとはねを分離し、箕や風選器などの風選によつて良質のタネを分離精選して貯蔵するようにする。湿度の高い琉球でははねをつけたまゝにするとはねが吸湿してタネの含水率を高め活力を減ずることになる。

樹種によつて差があるようだが、一般にマメ科の樹種のタネは、葉果のまゝで乾燥すると、種皮がペクチン物質の作用でコロイド性を失つて極めて発芽期間が長く従つて実用的には不発芽粒となるインダネに変わるが、完熟した葉果を採集して直ちに葉からタネを取り出して室内乾燥すればインダネに変わる粒数が極めて少なくなることが知られている。

イヌマキは速かに果托を除いた後一応室内に広げてタネの表面に附着した水分を乾燥させながら雑物や欠点のあるタネを除いてよいタネを分離精選する。

フクギ、テリハボク、センダンなどの果肉の厚い果実は欠点のあるのを取り除いた後、果実を臼などに入れて軽くつくか、堆積して踏みつけるなどして、果肉に傷をつけて、果肉が乾燥又は吸水し易い状態にした後、コンクリート叩きの上に薄く広げて果肉の水分を完全に乾燥除去するか又は果実を水に浸けて腐敗させ、水で完全に洗い流した後種実を広げて表面の附着水分を完全に除いて貯蔵に廻す。

イヌマキ、フクギ、テリハボクなどの大粒のタネは、完熟時のタネの含水率が割合に高く（二五—四〇%位）且つタネの活力の維持は大体完熟時の含水率を維持することが理想で、それよりも乾燥すると乾燥度の割に急激に活力が減じてゆき割に高い含水率で活力を全く失つて終らることになる故、タネの完熟時の含水率の高い大粒の樹種の果実の処理に當つては、果肉の完全な除去又は果肉の完全乾燥とタネ表面の附着水を乾燥する程度にとどめ、乾燥し過ぎないように注意する、

(つづく) (大山保表)

## 土と植物と動物

(三)

—植物と動物の必須元素のはなし—

### (四) 塩素

植物、動物の何れにも必須と考えられている。

植物においてはある酵素の活性を刺激し、炭水化物代謝、葉緑素生成に関係し又植物組織の水分保持力に関係があると云われている。

動物においては適当な浸透圧関係、適当な酸塩基の平衡を保持する。又塩酸の一分成分として胃内消化に重要な役割を持つている事はあまりにも知られたつてゐる事である。又ナトリウムと共に血液の一分成分である事はいうまでもない事であろう

(つづく)

## 読者だより

当学部では去る六月二十七日、水納島(本部町)の慰問映写会を催し、島の人々から大変よろこばれました。該地からよせられたたよりの一つを御紹介します。

謹啓 日増しに暑くなる節、先生方には、益々御健勝の由お慶び申し上げます。お蔭をもちまして私達も頑張っております。何卒御安心下さい。開日はわざわざ海路誠に有難うございました。開びやく以来辺地においての映写会故、私共には誠に有意義深い事でございます。今後、諸先生方の御期待にそうよう、意を新たにして辺地教育を守り抜く決意でございます。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

(水納校 島袋 盛慎)

発行所 琉球大学農家政学部

発行人 島袋 俊一

印刷 沖繩タイムス社

指令第一九八〇号

一九五八年六月二十五日印刷

一九五八年七月一日発行